

2020 年度特論・野外研究・実験 I

2020 年 4 月 27 日

作成: 楠橋 直 (2020 年度教務委員)

1. はじめに

今年度の「地球環境学特論」・「岩石鉱物学特論」・「地球物理学特論」は、本来予定していた後期ではなく前期(第1クォーター)の5月開講とする。また、講義は Moodle・Zoom 等を利用した遠隔方式でおこなう。成績評価は各特論で決められた方法によりおこなう(シラバス通りとは限らない)。

3つの特論は、地球科学科学生に対する研究室紹介を兼ねている。他学科の学生が履修するのは構わないが、基本的に地球科学科学生を対象としていることは理解しておくこと。地球科学科学生に対しては特論とほぼ同時に仮配属研究室希望調査をおこなう(第3節参照)。また研究室仮配属の結果に基づき「地球科学野外研究」・「地球科学実験 I」の振り分けをする(第4節参照)。

以下のことについて疑問がある場合は、教務委員の楠橋 (nkusu@sci.ehime-u.ac.jp) へメールで問い合わせること。ただし個別の特論に関する質問等はその特論の担当教員に直接問い合わせること(教務委員は問い合わせの転送も含めて対応しない)。

2. 「地球環境学特論」・「岩石鉱物学特論」・「地球物理学特論」

開講期間: 2020 年 5 月 7 日-5 月 31 日

各特論の Moodle コースが開設されているので(遅くとも5月7日には閲覧可能になるはず)、履修登録している特論のコースを訪れ、特論別のアナウンスメントを読み、まず各教員のトピックを全教員分確認すること。教員によって Moodle を利用する講義と、Zoom 等を利用してリアルタイムでおこなう講義とがある。特にリアルタイム講義の方は実施時間が設定される(その教員のトピックに記載されているはず)ので、きちんと確認してその時間に受講できる準備をしておくこと。準備の詳細については Moodle の各教員トピックに指示がある。万一リアルタイム講義の時間帯が重複している等、受講できない問題に気付いた場合は、早めに担当教員に知らせること(特論以外の講義と重複している場合も)。Moodle のみを用いた講義については期間中であればいつでも受講可能。講義内容に関する質疑応答等は各教員の示した手段によりおこなう。

履修登録しているのに Moodle コースが見られない等の問題がある場合は、早めに各特論の担当教員に連絡すること。

提出課題については、締切も含めて、各特論のアナウンスメント(とおそらく各教員のトピック)に指示があるので、それを確認すること。

3. 研究室仮配属

特論受講とともに仮配属研究室希望調査をおこなう。仮配属された研究室で少なくとも課題研究までおこなうことになる。課題研究まではあくまでも仮配属で、卒業研究移行時(正式な研究室配属決定時)には研究室の変更希望が出せる。なお、研究室の変更は原則として卒業研究移行時のみ可能。

希望調査は地球科学科ウェブサイト上でおこなう。開始時期は未定(希望調査のシステムが完成次第開始、5月のできるだけ早い時期を予定)。決定次第詳細をメール等により通知する。締切は

特論終了と同じ5月31日。希望調査では仮配属を希望する研究室の教員氏名を第一希望から第三希望まで記入。ただし、海洋系の研究室については、教員氏名ではなく、「海洋(物理)」,「海洋(古海洋)」,「海洋(生物化学)」で記入すること(CMES教員の特論講義を参考)。第一希望から第三希望まで希望研究室の重複は認めない。定員(今年度の定員は学部教員全体で12名,CMES教員全体で12名;教員所属は第4節の表を参照)の都合上,第一希望の研究室に仮配属されるとは限らず,第二希望・第三希望の研究室に仮配属されることもあり得るので,よく考えて希望を出すこと。仮配属研究室は必要に応じて人数調整をおこなったのち決定する(6月初旬を予定)。仮配属は決定後すぐにメール等により通知する。

仮配属を希望できるのは,原則として3つの特論のいずれかを担当している(Moodleコースにトピックのある)教員の研究室のみ(第4節の表を参照)。ただし,特に希望する場合は入船先生の研究室で指導を受けることもできる(入船研究室を希望研究室に挙げて良い)。

少なくとも第三希望までに挙げる研究室は,希望を出す前に“研究室訪問”すること。今年度は実際に訪問するのではなく,メール等を用いた遠隔方式での“訪問”とする。“訪問”手段は各教員の特論講義あるいは講義資料等で説明がある。もし手段が明示されていない場合は,その教員にメールで問い合わせること。入船先生の研究室を希望する場合も同じ。

4. 「地球科学野外研究」・「地球科学実験 I」

先にも連絡した通り,年度初めにおこなった「地球科学野外研究」・「地球科学実験 I」選択希望調査は白紙に戻す。今年度は仮配属研究室に応じて自動的に振り分ける。

学部教員・CMES教員(物理・古海洋・生物化学すべての海洋系研究室)の研究室に仮配属された学生は「地球科学野外研究」を,GRC教員の研究室に仮配属された学生は「地球科学実験 I」を受講することが自動的に決定する。そのため,必要に応じて現時点での履修登録は変更することになる。また「地球科学野外研究」のうち,学部教員の研究室に仮配属された学生は地質調査を,CMES教員の研究室に仮配属された学生は海洋調査をおこなうことになる。

教員の所属は次表の通り。

	理学部	CMES	GRC
野外/実験 I	野外研究(地質)	野外研究(海洋)	実験 I
教員	鏑本武久 堀 利栄 岡本 隆 楠橋 直 齊藤 哲 Alexandra Abrajevitch 白勢洋平	郭 新宇 森本昭彦 加 三千宣 吉江直樹	亀山真典 土屋卓久 大内智博 河野義生 境 毅 土屋 旬 西 真之 西原 遊 出倉春彦 Steeve Georgi Gréaux (入船徹男)

「地球科学野外研究」・「地球科学実験 I」ともに第2クォーター(かそれ以降)に開講予定。実施可能になり次第開講するので,連絡に注意しておくこと。なお,開講のタイミングは野外研究(地質),野外研究(海洋),実験 Iとで必ずしも一致するとは限らない。また,8月・9月・10月を利用して実施することもあり得る。

今後の状況によりやむを得ず開講が遅れると,後期の課題研究開始までに「地球科学野外研究」・「地球科学実験 I」を十分に実施できない可能性もある。その場合は配属された研究室の教員の指導の下,研究をおこなうことで補填し単位を取得できる。